

## ブルンジ月報（2018年9月）

### 主な出来事

#### 【内政】

- ブルンジ治安部隊と与党青年団インボネラクレにより、過去5か月間で、200人以上の人が殺害された。
- 18日、与党の若手リーダーが武装グループにより斬首された。
- 27日、ブルンジ政府は、国際NGOに対し、10月1日から3か月間の活動停止を命じた。

#### 【外政】

- 5日、国連人権理事会のブルンジ調査委員会第2回報告書は、重大な人権侵害が継続していると指摘した。
- 14日、ブルンジ政府は国連人権理事会離脱を示唆した。
- 17日、中国とブルンジは、500万元（約8億1,000万円）相当の寄付協定を締結した。
- 17日、タンザニアにおいて、ブルンジ国籍の19人の不法移民が逮捕された。
- 29日、ニビギラ外務大臣は、国連総会において一般討論演説を行った。

#### 【内政】

##### ・エスカレートする残虐行為（14日：Wall Africa）

国際人権連合（FIDH）及びブルンジ最大の人権団体である Ligue ITEKA は、ブルンジ治安部隊と与党青年団インボネラクレによる29件の性的暴行、35件の強制失踪、144件の拷問、684件の任意逮捕等のため、約5か月間で少なくとも226人が殺害されたと報告した。

##### ・武装グループによる与党若手リーダー夫妻の殺害（19日：AFP）

18日、ルワンダとの国境に近いブユンプにおいて、与党を支援しているブユンプ地方のインボネラクレの若手リーダーが斬首され、首が持ち去られた。同夫人もまた、銃撃され死亡した。同党首は、正体不明の武装グループがリーダーの家に押し入ったと述べた。

##### ・国際NGOの3か月間の活動停止措置（28日：ロイター通信）

27日、ンティグリルワ（Silas NTIGURIRUWA）国家安全保障評議会事務局長は、ブルンジ政府は、2017年の新しい法律に違反する国際NGOについて、10月1日から3か月間、活動を停止する旨発表した。同事務局長によると、NGO活動の再開は、昨年1月の新しい法律への整合性によって決まる。ブルンジ政府職員によると、ブルンジには約130の国際NGOがある。カレルワ大統領府スポークスマンは、29日、地元ラジオにて、いくつかのNGOは、同性婚を促進しており、これは我々の文化に反するものであると述べた。また、ニヨンガボ（Anicet NIYONGABO）上院議員は、ブルンジ政府は、NGOの雇

用状態を調査する旨述べるとともに、ブルンジ人職員の雇用は憲法で定められた部族及び男女のバランスに従うべき（法律は、フツ族を60%、ツチ族を40%の割合で現地職員を雇用することを求めている。）であると述べた。

## 【外政】

### ・ ブルンジにおける人権侵害への懸念（5日：RNA）

5日、ブルンジ調査委員会の第2回報告書によると、拷問、性的暴行、恣意的逮捕を含む重大な人権侵害に関する懸念事項に加えて、与党青年団インボネラクレの影響の増大が懸念されている。同報告書によれば、ブルンジにおいて、人道支援を必要とする国民の数は過去18か月間で3倍となる300万人以上に増加し、国民のおおよそ3分の1に達している。また、同報告書にて、ブルンジの危機の兆候として、①国民の窮乏化、②食料不安、③権利の侵害があり、このような状況下にて政府高官が国外逃亡している点がある旨述べた。

### ・ ブルンジ政府代表団による国連人権理事会離脱の脅し（15日：RNA）

ブルンジ調査委員会による人権侵害に関する報告書を受け、ブルンジ政府代表団は、17日の国連人権理事会で発言を行うため、ジュネーブを訪問した。ニヤミトウェ（Willy NYAMITWE）大統領報道官は、14日、ニビヤバンディ（Martin NIVYABANDI）人権大臣に率いられたブルンジ政府代表団が、新しく任命されたバチェレ（Michelle BACHELET）国連人権高等弁務官（元チリ大統領）と会談すると述べた。同報道官は、会談から多くを期待しているが、「もし状況に変化がなく、人権理事会が過度に政治問題化し続けるのであれば、ブルンジは、人権理事会から離脱する（quit）権利を留保する」と述べた。

### ・ 中国からのコメの寄付に関する協定締結（17日：RTNB）

17日、ニビギラ（Ezéchiél NIBIGIRA）外務大臣は、中国大使と5,000万中国元（約8億1,000万円）のコメの寄付における協定に調印した。ニビギラ大臣は、ブルンジは中国との関係を強化し続けると強調した。

### ・ タンザニアにおけるブルンジ不法移民の逮捕（20日：The Citizen）

17日、タンザニア国内の複数の地方において、19人のブルンジ国籍の不法移民が、移動書類不備の理由でタンザニア警察に逮捕された。

### ・ ニビギラ外務大臣による国連総会一般討論演説（29日：ブルンジ国連代表部ウェブサイト）

29日、国連総会にて、ニビギラ外務大臣は、一般討論演説を行い、ンクルンジザ大統領が2020年に選出される新大統領を支持すること、地域情勢が正常化し、治安が安定していること、20万6,000人以上の難民が自発的に帰還していること等を述べた。また、国内開発目標である「PND2018-2027」で挙げた7つの重点分野に沿った活動の実施をドナーに対して呼びかけた。

（了）